

頁数	改訂後	改訂前
(前)1	<p><b>第1章 基本的な考え方</b></p>	<p><b>第1章 基本的な考え方</b></p>
(後)1	<p><b>1. 国の基本的な考え方</b></p> <p>我が国では、世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子高齢化が進行しており、生産年齢人口の減少が、我が国の経済成長の制約になることが懸念されています。</p> <p>また、人口が減少する中で、東京圏と地方との転出入均衡達成目標はいまだ達成できておらず、地方の過疎化や地域産業の衰退、更には首都圏直下地震等の大規模災害への対応等が大きな課題となっています。</p> <p>さらに、新型コロナウイルス感染症が拡大したことに伴い、観光業などの地方経済を支える産業への打撃や、地域コミュニティの弱体化等、地方の経済・社会は大きな影響を受けました。</p> <p>他方、感染症の影響により、デジタル・オンラインの活用が進み、時間と場所にとらわれない働き方が可能になるとともに、テレワークやワーケーションが普及したことで、多地域居住・多地域就労が現実のものとなり、経済社会の分極化の重要性を再認識させることとなりました。</p> <p>このように、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、「デジタル田園都市国家構想」という旗の下、地域の個性を生かしながらデジタルの力によって地方創生の取組を加速化・深化させていく必要があります。</p>	<p><b>1. 国の基本的な考え方</b></p> <p><u>①活力ある地域社会の実現と東京への一極集中の是正</u></p> <p>我が国の人口減少・少子高齢化と東京圏への人口一極集中が依然として進行する中、地方においては地域社会の担い手の確保や都市機能の維持が困難な状況も生まれてきています。災害リスクについても、東京への一極集中した状態では、首都直下地震などの巨大災害による直接的な被害が大きくなるだけでなく、日本経済・社会全体に大きなダメージを受けるリスクがあります。</p> <p>そのため、国のまち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）においては、地方における人口減少を緩和するため、結婚、出産、子育ての希望をかなえ、生活面の充実を図るとともに、文化や歴史、街並み等を活かした「暮らしやすさ」を追求し、地方の魅力を育み、ひとが集う地域の構築を目指すこととしています。さらに、観光、農業など地域の特性を活かして稼ぐ力を高め、稼いだ資金を地域発のイノベーションや地域企業への投資につなげる等、地域経済を強化していくこととしています。</p> <p>また、人口減少は、その歯止め時間に時間を要し、歯止めをかけたとしても一定の人口減少が進行していくと見込まれることから、生活・経済圏の維持・確保や、生産性の向上などに取り組み、人口減少に適応した地域をつくることとしています。</p> <p>★ <u>下線部分、全部修正</u></p>

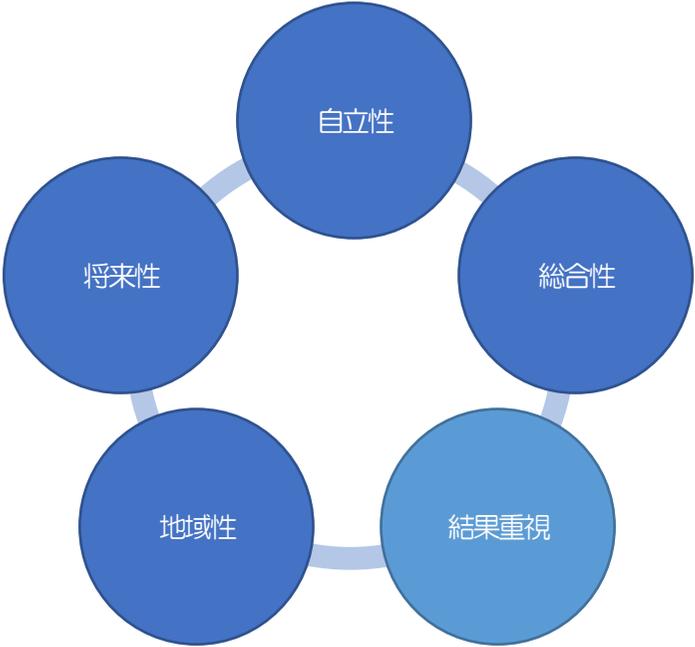
頁数	改訂後	改訂前			
<p>(前)1</p> <p>(後)2</p>	<p><b>取組の方向性</b></p> <p><b>【社会情勢の変化と地方創生の加速化・深化】</b>          テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、<u>社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。</u></p> <p><b>【東京圏への一極集中の是正】</b>  <u>東京圏への過度な一極集中の是正や多極化</u>を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、<u>地方の社会課題を成長の原動力</u>とし、地方から全国へと<u>ボトムアップの成長</u>につなげていく。</p> <p><b>【デジタルの活用を実証から実装へ】</b>          デジタル技術の活用は、その<u>実証の段階から実装の段階に</u>着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園国家構想交付金の活用等により、<u>各地域の優良事例の横展開を加速化。</u></p> <p><b>【エネルギーインフラのデジタル化】</b>  <u>2050年のカーボンニュートラルの実現</u>に向け、地域との共生を図りながら再生可能エネルギーの最大限導入、電力の安定供給、レジリエンスの向上等を進めていくために、<u>送配電インフラの増強やデジタル化による運用の高度化をセキュリティ対策に万全を期しつつ推進</u>していく。</p> <p><b>【これまでの地方創生の取組の継承と発展】</b>  <u>これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進</u>していくことが重要。</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 10px; text-align: center;"> <p><b>将来にわたって「活力ある地域社会」の実現</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">           人口減少を和らげる            結婚・出産・子育ての希望をかなえる            魅力を育み、ひとが集う         </td> <td style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">           地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する         </td> <td style="border: 1px solid red; padding: 5px; text-align: center;">           人口減少に適応した地域をつくる         </td> </tr> </table> <p><b>「東京圏への一極集中」の是正</b></p> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">資料:内閣府 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」</p> <p><u>これらを通じて、我が国が抱える課題の解決に一体的に取り組み、将来にわたって「活力ある地域社会」の実現と「東京圏への一極集中」の是正を共に目指します。そして、こうした取組を通じて、市民一人ひとりがそれぞれ暮らす地域において、家族や友人、隣人等との交流の中で、豊かさと生活の充実感を享受できるようにしていくこととしています。</u></p> <p>★ 図・下線部分、全部修正</p>	人口減少を和らげる 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 魅力を育み、ひとが集う	地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する	人口減少に適応した地域をつくる
人口減少を和らげる 結婚・出産・子育ての希望をかなえる 魅力を育み、ひとが集う	地域の外から稼ぐ力を高めるとともに、地域内経済循環を実現する	人口減少に適応した地域をつくる			

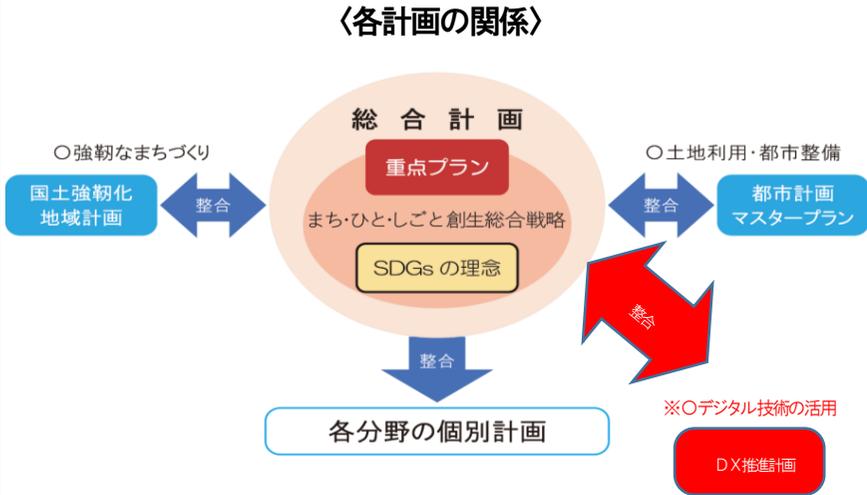
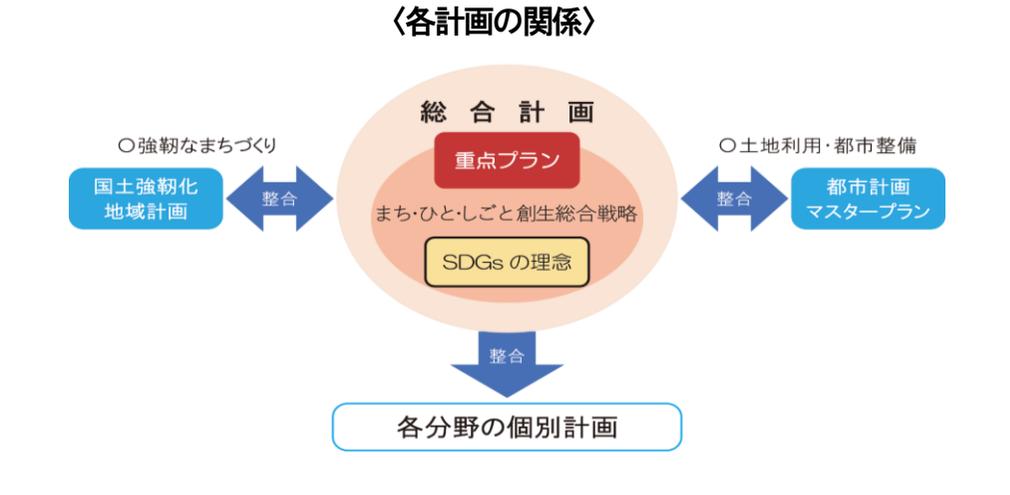
頁数	改訂後	改訂前
(前)2 (後)3	<p>デジタル田園都市国家構想 令和5年12月26日閣議決定</p> <h2>総合戦略(2023改訂版)の全体像</h2> <p>デジタル田園都市国家構想 DIGIDEN</p> <p>総合戦略(2027年度までの5か年計画)の基本的考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。</li> <li>デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、各地域の優良事例の横展開を加速化する。</li> <li>これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進する。</li> </ul> <p>地方の社会課題解決</p> <p>国によるデジタル基盤の基礎条件整備</p> <p>施策の方向</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>地方に仕事をつくる 中小・中堅企業DX、地域の良質な雇用の創出等、スマート農業、観光DX等</li> <li>人の流れをつくる 移住の推進、関係人口の創出・拡大、地方大学・高校の魅力向上等</li> <li>結婚・出産・子育ての希望をかなえる 結婚・出産・子育ての支援、少子化対策の推進等</li> <li>魅力的な地域をつくる 地域生活圏、教育DX、医療・介護DX、地域交通・物流・インフラDX、防災DX等</li> </ol> <ol style="list-style-type: none"> <li>デジタル基盤の整備 デジタルインフラの整備、デジタルライフライン全国総合整備計画、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大等</li> <li>デジタル人材の育成・確保 デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成等</li> <li>誰一人取り残されないうための取組 デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現等</li> </ol> <p>資料:内閣府「デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023改訂版)」の全体像</p>	<h2>②感染症克服と経済活性化の両立</h2> <p>令和2年(2020年)の新型コロナウイルス感染症拡大により、世界規模で地域経済・生活に甚大な影響が出ています。このため国は、感染症拡大を防止・早期収束に取り組むとともに、危機に強い地域経済の構築を図り、感染症を乗り越えた後の時代の変化を捉えた新しい地方創生の実現に取り組むこととしています。</p> <p>雇用の維持と事業の継続 ～暮らしを支え守る～</p> <p>経済活動の回復 ～地域経済の立て直し～</p> <p>強靱な経済構造の構築 ～危機に強い地域経済～</p> <p>&lt;感染症への緊急対応&gt;</p> <p>○地域経済・生活の再興 ・雇用の維持と事業の継続 ・交流、賑わいの再活性化 ・感染症の克服と危機に強い地域経済の構築(地方創生臨時交付金)</p> <p>&lt;感染症克服と経済活性化の両立&gt;</p> <p>○新たな日常に対応した地域経済の構築と東京圏への一極集中の是正 (地方創生臨時交付金) ・感染症の克服と危機に強い地域経済の構築 ・地方への移住・定着の推進 -地方大学の産学連携強化と体制充実 -リモートワーク推進等による移住等の推進</p> <p>○結婚・出産・子育てしやすい環境の整備 ・結婚・出産・子育ての支援</p> <p>資料:内閣府 第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」</p> <h2>③新たな3つの視点</h2> <p>令和3年(2021年)に国が示した「まち・ひと・しごと創生基本方針2021」には、感染症の影響を踏まえたあるべき姿を見据え、新たに3つの視点が掲げられています。</p> <p>i) ヒューマン～地方へのひとの流れの創出や人材支援に着目した施策～</p> <p>感染症拡大以降のひとの流れや働き方の変化を踏まえ、地方で働きやすく暮らしやすい環境を整え、東京圏から地方への移住促進を図ることとしています。</p> <p>具体的な取組の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方創生テレワークの推進</li> <li>●企業の地方移転等の促進</li> <li>●地域における人材支援の充実</li> <li>●子育て世代の移住等の更なる推進</li> <li>●関係人口の更なる創出・拡大</li> <li>●魅力ある地方大学の創出</li> </ul> <p>★ 図・下線部分、全部修正(削除)</p>

頁数	改訂後	改訂前
(前)3		<p><b>ii) デジタル～地域の課題解決や魅力向上に資する地方における DX に向けた施策～</b></p> <p><u>感染症拡大によって、我が国の様々な分野でのデジタル化の遅れが浮き彫りになりました。様々な行政機能やサービスをデジタル化することで、交通アクセスなどの地理的・時間的な制約要因に関係なく、いずれの地域でも同様のサービスを楽しむことができるように、取り組むこととしています。</u></p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>具体的な取組の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 5Gなどの情報通信基盤の早期整備</li> <li>● デジタル分野の人材支援</li> <li>● データ活用基盤の整備</li> <li>● 様々な分野における DX 推進による地域課題の解決、地域の魅力向上</li> </ul> </div> <p><b>iii) グリーン～地方が牽引する脱炭素社会の実現に向けた施策～</b></p> <p><u>令和32年（2050年）脱炭素社会の実現に向けた「地域脱炭素ロードマップ」のもと、積極的、継続的かつ包括的に支援するスキームを構築し、地域の脱炭素を推進します。また、国民のライフスタイルの変革、多様な主体による取組促進のための制度的対応を強力に推進することとしています。</u></p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>具体的な取組の方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● グリーン分野の人材支援</li> <li>● 情報の共有化・地方公共団体の取組の促進</li> <li>● 官民連携の取組の推進</li> <li>● 地方創生SDGs等の推進</li> <li>● 地域社会・経済を支える分野における脱炭素化の取組の推進</li> </ul> </div> <p>★ <u>下線部分、全部修正（削除）</u></p>

頁数	改訂後	改訂前
(前)3		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px; width: 80%;"> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;">稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;">地域とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;">結婚・出産・子育ての希望をかなえる</div> <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;">ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な域をつくる</div> </div> <div style="margin: 10px 0;">  </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px; width: 80%;"> <div style="background-color: #27ae60; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;">多様な人材の活躍を推進する</div> <div style="background-color: #27ae60; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; text-align: center;">新しい時代の流れを力にする</div> </div> <div style="margin-top: 20px; color: red; font-weight: bold;">★ <u>図・下線部分、全部修正（削除）</u></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px; width: 80%;"> <div data-bbox="1832 411 2038 450"><u>4つの基本目標</u></div> <div data-bbox="1832 756 2105 794"><u>2つの横断的な目標</u></div> </div>

頁数	改訂後	改訂前
<p>(前)4</p> <p>(後)4</p>	<p style="text-align: center;">【修正なし】</p>	<p><b>2. まち・ひと・しごとの創生に向けた政策5原則</b></p> <p>国は人口減少の克服と地方創生を確実に実現するため、次の5つの政策原則を掲げています。本市においてもこの政策5原則に基づきつつ、関連する施策を展開する必要があります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>1. 自立性</b> 地方自治体、民間事業者、個人等の自立につながる施策に取り組む。</p> <p><b>2. 将来性</b> 施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって構造的な問題に積極的に取り組む。</p> <p><b>3. 地域性</b> 地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。</p> <p><b>4. 総合性</b> 施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。</p> <p><b>5. 結果重視</b> 施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。</p> </div>

頁数	改訂後	改訂前
(前)4 (後)4	<p data-bbox="555 555 788 612">【修正なし】</p>	 <p data-bbox="1285 288 1980 935">A circular diagram consisting of five blue circles arranged in a pentagon shape, connected by light blue lines. The circles contain the following text from top to bottom: 自立性 (Independence), 総合性 (Comprehensiveness), 結果重視 (Results-oriented), 地域性 (Localism), and 将来性 (Future-oriented).</p>

頁数	改訂後	改訂前
<p>(前)5 (後)5</p>	<p><b>第2章 総合戦略の位置付け</b></p> <p>富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、人口減少対策・地域活性化についての計画であり、富里市総合計画の重点プランとして、まちづくりに係る全ての分野から横断的な視点での施策を位置付けるものです。</p> <p><b>〈各計画の関係〉</b></p>  <p>総合戦略に基づく各種施策の検討に当たっては、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の施策の方向性を踏まえつつ、本市の各分野における個別計画や「市民にやさしいデジタル化」を目指し策定した「富里市※DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画」との整合を図り、デジタルの活用を推進するとともに、施策間連携を進め効果的かつ効率的な取組を推進します。</p> <p>※ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。  (Digital transformation)  「Trans」(交差する)を「X」と略し、一般的に「DX」と表記される。</p> <p>★ <b>赤枠・赤字部分の図、文章追加</b></p>	<p><b>第2章 総合戦略の位置付け</b></p> <p>富里市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、人口減少対策・地域活性化についての計画であり、富里市総合計画の重点プランとして、まちづくりに係る全ての分野から横断的な視点での施策を位置付けるものです。</p> <p><b>〈各計画の関係〉</b></p> 

頁数	改訂後	改訂前																																																																																																														
(前) 5 (後) 6	<p><b>第3章 総合戦略の期間</b></p> <p>総合戦略の計画期間は、総合計画との整合を図るとともに、次期計画となる後期基本計画と第3期総合戦略の関係性や体系を見据え、一部改訂後においても「令和4年度～令和8年度」とします。</p> <p>なお、総合戦略の名称については、国は総合戦略の名称を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」に変更したことから、令和9年度（2027年度）からの第3期総合戦略策定時において変更を検討することとします。</p> <table border="1" data-bbox="264 611 1095 959"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和12年度</th> <th>令和13年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本構想</td> <td colspan="10">基本構想</td> </tr> <tr> <td>基本計画</td> <td colspan="5">前期基本計画</td> <td colspan="5">後期基本計画</td> </tr> <tr> <td>重点プラン</td> <td colspan="5">第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略</td> <td colspan="5">第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ <u>赤枠部分追加</u></p>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	基本構想	基本構想										基本計画	前期基本計画					後期基本計画					重点プラン	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略					第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略					<p><b>第3章 総合戦略の期間</b></p> <p><u>5か年計画（令和4年度～令和8年度）として策定し、人口ビジョンで示した富里市人口の現状と将来の姿を踏まえ、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示します。</u></p> <table border="1" data-bbox="1151 451 2085 791"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> <th>令和10年度</th> <th>令和11年度</th> <th>令和12年度</th> <th>令和13年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本構想</td> <td colspan="10">基本構想</td> </tr> <tr> <td>基本計画</td> <td colspan="5">前期基本計画</td> <td colspan="5">後期基本計画</td> </tr> <tr> <td>重点プラン</td> <td colspan="5">第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略</td> <td colspan="5">第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略</td> </tr> </tbody> </table> <p>★ <u>下線部分、全部修正</u></p>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度		2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	基本構想	基本構想										基本計画	前期基本計画					後期基本計画					重点プラン	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略					第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度																																																																																																						
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031																																																																																																						
基本構想	基本構想																																																																																																															
基本計画	前期基本計画					後期基本計画																																																																																																										
重点プラン	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略					第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略																																																																																																										
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度																																																																																																						
	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031																																																																																																						
基本構想	基本構想																																																																																																															
基本計画	前期基本計画					後期基本計画																																																																																																										
重点プラン	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略					第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略																																																																																																										

頁数	改訂後	改訂前
	<p style="text-align: center;">----- (中 略) -----</p>	<p style="text-align: center;">----- (中 略) -----</p>



頁数	改訂後	改訂前
(前)30  (後)31	<div style="border: 2px solid green; padding: 10px;"> <p><b>主な取組</b></p> <p>□1 市民サービスの利便向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●行政手続のオンライン化</li> <li>●マイナンバーカードの普及促進・利活用</li> <li>●行政サービスの向上</li> </ul> <p>□2 地域の情報通信基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタルデバйд対策</li> <li>●オープンデータの推進</li> <li>●地域社会のデジタル化の推進</li> </ul> <p>□3 ICT活用による行政の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基幹系情報システムの標準化・共通化</li> <li>●AI・RPAを活用した業務効率化</li> <li>●内部情報系システムの合理化・適正化</li> <li>●テレワークの推進</li> <li>●ペーパーレス推進のための庁内環境整備</li> </ul> <p>□4 セキュリティ対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●セキュリティ対策の徹底</li> </ul> </div> <p style="margin-top: 20px;">★ <u>修正なし</u></p>	<div style="border: 2px solid green; padding: 10px;"> <p><b>主な取組</b></p> <p>□1 市民サービスの利便向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●行政手続のオンライン化</li> <li>●マイナンバーカードの普及促進・利活用</li> <li>●行政サービスの向上</li> </ul> <p>□2 地域の情報通信基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●デジタルデバйд対策</li> <li>●オープンデータの推進</li> <li>●地域社会のデジタル化の推進</li> </ul> <p>□3 ICT活用による行政の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基幹系情報システムの標準化・共通化</li> <li>●AI・RPAを活用した業務効率化</li> <li>●内部情報系システムの合理化・適正化</li> <li>●テレワークの推進</li> <li>●ペーパーレス推進のための庁内環境整備</li> </ul> <p>□4 セキュリティ対策の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●セキュリティ対策の徹底</li> </ul> </div>

頁数	改訂後				改訂前
(後)32	「デジタル田園都市国家構想交付金」活用実績(令和6年度)				
	事業名	事業概要	運用開始	新規 KPI	
	『書かない窓口』(申請書記入サポートシステム)導入事業	窓口における申請書記入の負担軽減を目的にマイナンバーカード等を利用して住民票や課税証明書などの申請書に氏名・住所等の情報を自動印字する申請書記入サポートシステムを導入する。申請書記入サポートシステムの導入により、窓口業務の効率化による市民サービスの向上及びマイナンバーカードの更なる普及促進につなげる。	令和6年 10月	システムを利用した申請書の発行枚数	
	デマンド交通Web予約システム導入事業	デマンド交通(キャロリン号)の予約方法に、携帯電話やタブレット端末等から予約可能なWeb予約システムを導入し、市民の利便性向上を図る。	令和6年 6月	デマンド交通Web予約システム利用件数	
介護保険事務電算処理事業	介護認定調査事務において、タブレット端末によるシステムを導入することで、訪問調査業務の効率化を図る。	令和6年 8月	介護認定調査年間処理件数		

頁数	改訂後				改訂前
(後)32	ごみ分別アプリ事業	スマートフォン用のごみ分別アプリを導入し、ごみ収集日のプッシュ通知や、分別方法などをスマートフォンで検索等を可能にすることで、市民の利便性を高める。また、多言語表示により、外国人市民の利便性を高める。	令和6年 7月	アプリ登録者数	
	税務証明書コンビニ交付事業	コンビニ交付サービスの対象となる証明書に、税務証明書を追加するシステム改修を行い、マイナンバーカードを活用したサービスを拡充することで、マイナンバーカードの普及率の向上及びDX推進による市民サービスの向上につなげる。	令和7年 2月 (予定)	税務証明書のコンビニ交付率	
★ 「デジタル田園都市国家構想交付金」実績(令和6年度)追加					

頁数	改訂後			改訂前		
(前)31	(重要業績評価指標)	基準値(R2)	目標値(R8)	KPI(重要業績評価指標)	基準値(R2)	目標値(R8)
(後)33	オンライン手続数	8	32	オンライン手続数	8	32
	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービス利用率	3.5%	30.0%	マイナンバーカードを利用したコンビニ交付サービス利用率	3.5%	30.0%
	キャッシュレス決済等のシステム導入件数	2件	10件	キャッシュレス決済等のシステム導入件数	2件	10件
	デジタル活用に関する講座等の開催回数	0回/年	12回/年	デジタル活用に関する講座等の開催回数	0回/年	12回/年
	オープンデータ公開数	11	14	オープンデータ公開数	11	14
	公衆無線LAN設置施設数	7施設	10施設	公衆無線LAN設置施設数	7施設	10施設
	標準化するシステム数	0	20	標準化するシステム数	0	20
	AI・RPAを導入することによる効率化等を図る業務数	1	10	AI・RPAを導入することによる効率化等を図る業務数	1	10
	内部情報系システムの合理化・適正化を図る業務数	0	2	内部情報系システムの合理化・適正化を図る業務数	0	2
	テレワーク実証実験実施回数	0回	5回	テレワーク実証実験実施回数	0回	5回
	紙の使用量(タブレット端末導入による削減)	5,032,000枚	4,600,000枚	紙の使用量(タブレット端末導入による削減)	5,032,000枚	4,600,000枚
	セキュリティ対策のオンライン研修	1回/年	1回/年	セキュリティ対策のオンライン研修	1回/年	1回/年
	新規KPI(令和6年度改訂時)					
	システムを利用した申請書発行枚数	-	1,000枚/月			
	デマンド交通Web予約システム利用件数	-	6,000件/年			
	介護認定調査年間処理件数	-	2,000件/年			
	ごみ分別アプリ登録件数	-	3,000人(累計)			
	税務証明書のコンビニ交付率	-	30%			
	★ 新規KPI(令和6年度改訂時)追加					

頁数	改訂後	改訂前
(後)33	<p>新たな社会 "Society 5.0"</p> <p>5.0</p> <p>Society 1.0 狩猟</p> <p>2.0 Society 2.0 農耕</p> <p>Society 3.0 工業</p> <p>3.0</p> <p>4.0 Society 4.0 情報</p> <p>4.0</p>	